

平成 24 年度 新たな学校防災教育モデル校の取組

行政区	太白区	学校番号	1 3	学校名	仙台市立長町中学校
-----	-----	------	-----	-----	-----------

1 重点取組事項

- 1 防災教育指導計画の作成
(小中 9 年間を見通した防災教育, 防災教育全体計画, 防災教育年間指導計画)
- 2 さまざまな状況を想定した避難訓練
(授業時間, 休み時間, 体育館での集会時)
- 3 副読本を活用しての家庭を巻き込んだ防災の取組
(「家族と考えよう, 我が家の『防災の取組』」)
- 4 地域と連携しての防災教育体制の確立
(生涯学習事業との連携, 防災キャラクター選定, 「地域ぐるみ防災教育フォーラム in 長町」,
「地域とともに! 長町中防災訓練」)

2 今年度の取組状況

- 1 防災教育指導計画の作成
 - (1) 小中 9 年間を見通した防災教育の流れ
長町中学校区の小中 9 年間の防災教育で身に付けさせる自助・共助の力の検討および, 各段階で身に付けるべき具体的な自助・共助の力の一覧を作成。**(長町中学校区防災モデル校連絡協議会)**
 - (2) 防災教育全体計画
「長町中学校区小中 9 年間を見通した防災教育の流れ」, 「地域との連携」を組み込んだ本校における防災教育全体計画を作成。
 - (3) 年間指導計画
「防災教育研修会 in 長町」での研修を受け, 各教科, 領域等での防災教育との関わりを洗い出し, 本校における防災教育年間指導計画を作成

(約850人が地区毎学年毎に分かれて整列)

- 2 さまざまな状況を想定した避難訓練
 - (1) 授業時間における地震想定避難訓練 (4/20)
○併せて … 避難路確認, 電源喪失, 火災併発
 - (2) 休憩時間における地震想定避難訓練 (6/13)
○併せて … 電源喪失,
校庭避難後 1 3 地区に分かれて
集団下校隊形を編成, 形成
 - (3) 体育館での集会時における地震想定避難訓練 (11/13 予定)
○併せて … 電源喪失, 集団下校隊形を形成



- 3 副読本を活用しての家庭を巻き込んだ防災の取り組み
 - (1) 家族と考えよう, 我が家の『防災教育の取組』1, 2の作成
→ 副読本をもとに, 書き込みができるようシートを作成
 - ① 目的: 夏休みに家庭での防災について, 家族と取り組むことを目的に作成
 - ② 実施: 夏休み中に家族と話し合っ, 「家での 1 次避難」, 「部屋のレイアウト」,
「普段から家庭でできる備え」, 「いざという時の家族の連絡方法」について考える宿題とする。

- ③ 事後：夏休み後に全学級でシートを活用した学級活動を行い、それぞれが考えた防災の取組について班毎にまとめ、廊下に掲示して情報の共有を図った。

この取組が、9月の防災講話（消防署職員による自助・共助の話等）、10月の「地域とともに！長町中防災訓練」につながっていく

(2) 道徳の時間における活用

4 地域と連携しての防災教育体制の確立

(明日をてらすバケつぱり君)

(1) 生涯学習事業との連携(長町中学校区防災モデル校連絡協議会)

【ながまち学びネットとの連携した取組】

- メンバーによる防災教育関連の取組への人的支援
- 「子ども防災キャンプ in 鹿野」への中学生の参加



(2) 防災キャラクター選定(長町中学校区防災モデル校連絡協議会)

【長町中学校区青少年健全育成連絡協議会との連携した取組】

- 標語・ポスター、の募集と併せて「防災キャラクター」を小中学生から募集。

(3) 「地域ぐるみ防災教育フォーラム in 長町（附：町内会関係者を交えた「情報交換会」、中学校区の先生方、太白区の防災主任等の研修「防災教育研修 in 長町」）」(8/1)

(長町中学校区防災モデル校連絡協議会)

【東北大学災害科学国際研究所、各小中学校PTA、太白区、太白区中央市民センター等多数の地域団体との共催による取組】

- 地域の子供たちの防災教育に関わる大人のための研修会。(参加者 約300名)

この取組により、学校と地域とのネットワークが広がり、10月の「地域とともに！長町中防災訓練」の実施を可能とした。

(4) 「地域とともに！長町中防災訓練」

【中学校区の福祉関係団体、公所を中心とした多数の団体と連携しての取組】

- 長町中学校生徒約850名が共助の力を高めるため、地域の方々の力をお借りして行った訓練。各学年毎に計8つの訓練を実施。(参加者 約1,100名)



(仮設トイレ設置訓練)

3 成果と課題

- 成果①：長町中学校区モデル校連絡協議会での取組を通して
 - ・各校の取組を共有することにより、地域の安全マップ作りをどの小学校も行うこととなり、共通の防災に関する学びを体験して中学校に進学する流れができた。
 - ・担当者の協力により、防災教育フォーラムのような大規模な取組を実施することができた。
- 成果②：地域と連携しての取組を通して
 - ・防災教育の基本である、生徒と地域との顔の見える関係作りのきっかけとなった。
 - ・地域団体と学校との多様なネットワークが構築されてきた。これにより、学校だけでは行えない防災教育に関わる多彩な取組の可能性が広がってきた。
- 課題①：校内の体制作り
 - ・年度がスタートしてからの計画と実施であったため、成果も多かったが、時間的な制約や、教職員の負担感も大きかった。年度初めからの年間指導計画への位置づけや、取組の合理化が必要と思われる。
- 課題②：地域とのかかわり
 - ・地域が主体となった防災・減災体制がまだ整っていない状況の中で、学校が地域の防災・減災作りにどう関わるべきなのか悩むところである。